

令和6年 5月31日

令和5年度 米子市福市考古資料館の管理業務に関する事業報告書

米子市長 伊木 隆司 様

名 称 一般財団法人 米子市文化財団

所 在 地 米子市末広町293番地

代表者氏名 理事長 杉原 弘一郎 (印)

管理業務の 実施状況	<p>1 原始・古代の歴史を学ぶ機会の提供</p> <p>(1) 米子市などの考古資料を展示する常設展や企画展を開催し、原始・古代への関心を高めた。常設展は随時入れ替えを行い、展示の充実を図った。</p> <p>(2) 発掘調査速報コーナーを設け、原始・古代への関心を高めた。</p> <p>(3) 見て・触れて・作る体験教室や出前講座などを通して、古代への興味・関心を高めた。</p> <p>2 施設の良い管理</p> <p>(1) 日々の施設設備の点検と清掃を行い、良好な環境の維持に努めた。</p> <p>(2) 前庭の植木や危険木の剪定、伐採、花壇の整備を行い、環境美化を図った。</p> <p>3 利用者サービスの向上</p> <p>(1) 来館者へ勾玉作り、火起こし、弓矢体験を提供した。</p> <p>(2) 来館者へ考古資料の拓本体験の提供を図った。</p> <p>(3) 考古学関係図書を配架し、学習利用に提供した。</p> <p>4 情報の発信</p> <p>(1) 事業のチラシを配布して広報に努めた。</p> <p>(2) 施設のホームページで施設情報や行事情報、遺跡紹介を行った。</p> <p>(3) 「米子市福市考古資料館通信」を年4回発行し、情報提供に努めた。</p> <p>(4) 解説チラシを展示室に配置し、展示解説に努めた。</p> <p>5 連携事業の促進</p> <p>(1) 鳥取県ミュージアムネットワークに加盟し、他館との連携を図った。</p> <p>(2) なかよし学級など学校との連携を図った。</p> <p>(3) 米子市立山陰歴史館、上淀白鳳の丘展示館、米子市との連携を図った。</p> <p>6 施設管理業務 別紙1のとおり</p> <p>7 事業の実施状況 別紙2のとおり</p>
施設の利用状況	開館日数 296日 入館者数 3,970人 (企画展を含む) 自主事業参加者数 445人 合計 4,415人
収入実績	施設の収入状況 別紙1のとおり

管理業務の実施状況

1 施設管理業務

実施月	施設	主な内容
4月	福市考古資料館内	
	福市考古資料館外	外構草刈
5月	福市考古資料館内	
	福市考古資料館外	外構草刈
6月	福市考古資料館内	警備保守点検
	福市考古資料館外	外構草刈
7月	福市考古資料館内	
	福市考古資料館外	外構草刈 生垣剪定
8月	福市考古資料館内	
	福市考古資料館外	外構草刈
9月	福市考古資料館内	
	福市考古資料館外	外構草刈
10月	福市考古資料館内	
	福市考古資料館外	外構草刈
11月	福市考古資料館内	
	福市考古資料館外	生垣剪定
12月	福市考古資料館内	
	福市考古資料館外	
1月	福市考古資料館内	
	福市考古資料館外	
2月	福市考古資料館内	消防設備点検
	福市考古資料館外	
3月	福市考古資料館内	
	福市考古資料館外	
毎月	福市考古資料館内	日常清掃業務、夜間機械警備業務
	福市考古資料館外	日常清掃業務

2 収入実績

項目	収入額(円)	備考
事業収入	43,400	自主事業資料・材料代
利用料収入	0	
雑収入	50,623	冊子売捌、自販機電気代等
合計	94,023	

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	内容
鑑賞事業			
常設展 「米子の原始・古代」	通 年	2,486	米子市内の遺跡から出土した、代表的な考古資料や写真パネルを展示し、小学生から大人まで、幅広く原始・古代を中心とした米子の歴史を学習する機会を提供した。
企画展1 「米子城跡の発掘調査の最新成果と今後の史跡整備」	5月24日(水) ～ 8月28日(月)	483	三の丸の発掘調査の成果を中心に、新たな米子城跡の姿を紹介するため、検出した遺構の写真パネルや出土遺物を展示した。
企画展2 「尾高城跡の発掘調査の成果」 －土の城から石の城へ－	10月14日(土) ～ 2月12日(月)	678	これまでの尾高城跡の姿が一変する新たな発掘調査成果を速報するため、検出した遺構の写真パネルや出土遺物を展示した。
企画展3 「米子の考古名宝展」	2月14日(水) ～ 3月31日(日)	323	米子市が所蔵する考古資料の中から資料を厳選し紹介した。
教育普及事業			
出前講座 「勾玉づくり」	5月27日(土)	60	UAゼンセン中国ブロックのセミナーで「勾玉づくり」の出前講座を行った。
出前講座 「古代体験」	7月25日(火) ～ 8月7日(月)	345	勾玉づくり等の古代体験をなかよし学級で実施し、子供達へ体験学習を提供した。
出前講座 「勾玉づくり」「拓本・弓矢体験」	7月26日(水) ～ 8月2日(水)	19	PAJA学童保育に「勾玉づくり」と「拓本・弓矢体験」の出前講座を行った。
出前講座 「勾玉づくり」	8月17日(木)	21	ペアーレキッズスタジアム学童保育に「勾玉づくり」の出前講座を行った。
考古学教室 「本物の土器や石器にさわってみよう！」	3月16日(土)	0	本物の土器や石器に触れ、弓矢体験を実施する。参加者がいなかったため未実施。
「古代体験」 勾玉づくり、火起こし、弓矢体験	通年	-	勾玉づくり、火起こし、弓矢の古代体験を希望した来館者等へ提供した。
情報提供事業			
米子市福市考古資料館通信の発行	年4回	-	福市考古資料館や史跡福市遺跡のイベント情報の提供や展示品の紹介等を行った。
刊行物の制作・発行	3月	-	埋蔵文化財センター・福市考古資料館の年報を発刊した。
ホームページ	通 年	-	ホームページを更新し、施設イベント情報や資料館通信を提供した。
図書等の販売	通 年	-	『よなご大昔物語』や米子城ペーパークラフト、勾玉の材料等を販売した。
入場者・参加者数合計(人)		4,415	

令和6年 5月31日

令和5年度 米子市埋蔵文化財センターの管理業務に関する事業報告書

米子市長 伊木 隆司 様

名称 一般財団法人 米子市文化財団
所在地 米子市末広町293番地
代表者氏名 理事長 杉原 弘一郎

㊟

管理業務の 実施状況	<ol style="list-style-type: none">1 原始・古代の歴史を学ぶ機会の提供 (1) 米子市などの考古資料及び発掘調査の進め方などを展示し、原始・古代をはじめとした郷土の歴史への関心を高めた。常設展示の入れ替えを随時行い、展示の充実を図った。 (2) 講座、講演会及び考古学教室の実施し、原始・古代への関心を高めた。 (3) 史跡ガイドウォークの実施により身近な郷土の歴史への関心を深めた。 (4) 見て・触れて・作る体験教室や出前講座などを通して、古代への興味・関心を高めた。2 埋蔵文化財資料の整理・保管・研究 (1) 米子市が所有する考古資料や記録類を適切に整理し収蔵保管した。 (2) 新着図書、寄贈図書を整理しデータ登録して貸出・閲覧に供した。 (3) 収蔵資料を貸出や研究利用に供し、資料の活用を図った。 (4) 未報告の収蔵資料を再整理し、調査研究に努めた。 (5) 県外の博物館、大学、研究機関等との調査研究の連携を図った。3 情報の発信 (1) 事業のチラシを配布して広報に努めた。 (2) 施設のホームページで施設や行事の情報、遺跡紹介を行った。 (3) 「米子市埋蔵文化財センターたより」を年4回発行し情報提供に努めた。 (4) 米子市などの発掘調査の最新情報を展示、発信した。4 連携事業の促進 (1) 鳥取県ミュージアムネットワークに加盟し、他館との連携を図った。 (2) 古代体験、学習の受け入れ等、学校と公民館の連携を図った。 (3) 米子市立山陰歴史館、上淀白鳳の丘展示館、米子市との連携を図った。 (4) 県外の博物館、大学、研究機関等との調査研究の連携を図った5 施設管理の充実 (1) 施設周辺の除草、植栽の剪定、伐採、花壇整備等を行い環境美化を図った。 (2) キュービクル外壁、防火扉、窓ガラスなど施設設備の修繕を実施した。6 施設管理業務 別紙1のとおり7 事業の実施状況 別紙2のとおり
施設の利用状況	開館日数 244日 常設展入場者 897人 事業参加者 555人 施設設備利用者 376人 合計1,828人
収入実績	施設の事業収入 別紙1のとおり

管理業務の実施状況

1 施設管理業務

実施月	施設	主な内容
4月	センター館内	電気保安点検
	センター館外	外観点検
5月	センター館内	
	センター館外	外観点検、キュービクル外壁塗装・修繕
6月	センター館内	電気保安点検
	センター館外	外構草刈
7月	センター館内	
	センター館外	外構草刈
8月	センター館内	電気保安点検
	センター館外	外構草刈、貯水槽清掃
9月	センター館内	消防用設備保守点検、防火扉修繕
	センター館外	外構草刈
10月	センター館内	電気保安点検、窓ガラス修理
	センター館外	花壇整備
11月	センター館内	
	センター館外	
12月	センター館内	電気保安点検、大掃除
	センター館外	
1月	センター館内	L P ガス設備調査点検
	センター館外	
2月	センター館内	電気保安点検
	センター館外	
3月	センター館内	消防用設備保守点検
	センター館外	外構草刈、貯水槽清掃
毎月	センター館内	日常清掃業務、夜間機械警備業務
	センター館外	日常清掃業務、夜間機械警備業務

2 収入実績

項目	収入額(円)	備考
事業収入	35,000	自主事業資料代
雑収入	43,200	冊子売捌
合計	78,200	

3 事業の実施状況

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	内容
鑑賞事業			
常設展			
米子の遺跡と発掘調査	通年	897	米子市内の遺跡から発掘調査された出土品と発掘調査の方法の展示を通して、米子の原始から現代までの歴史への理解を深めた。
最新発掘成果速報展	随時	-	発掘調査の情報を速報した。
教育普及事業			
史跡ガイドウォーク 1 「石州府古墳群」 共催：米子市立山陰歴史館、 上淀白鳳の丘展示館	6月25日(日)	21	「石州府古墳群」を巡るガイドウォークを実施した。(フレイル予防事業)
史跡ガイドウォーク 2 「福市古墳群と青木古墳群」 共催：米子市立山陰歴史館、 上淀白鳳の丘展示館	10月14日(土)	18	「福市古墳群と青木古墳群」を巡るガイドウォークを実施した。(フレイル予防事業)
史跡ガイドウォーク 3 「宗像古墳群」 共催：米子市立山陰歴史館、 上淀白鳳の丘展示館	11月19日(日)	29	「宗像古墳群」を巡るガイドウォークを実施した。(フレイル予防事業)
史跡ガイドウォーク 4 「向山古墳群」 共催：米子市立山陰歴史館、 上淀白鳳の丘展示館	3月24日(日)	15	「向山古墳群」を巡るガイドウォークを実施した。(フレイル予防事業)
出前講座「尾高城ガイド」	11月11日(土)	18	江尾城を探る会に尾高城のガイドを実地。
小町越城野原第11遺跡見学会	12月16日(土)	37	伯耆町小町越城野原第11遺跡の発掘調査成果の見学会を実施した。
考古学講演会 第1回 「米子平野の古墳について」	9月9日(土)	13	会場：米子市文化ホール研修室 講師：高橋主幹学芸員
考古学講演会 第2回 「古墳時代について」	3月9日(土)	6	会場：米子市文化ホール研修室 講師：下高館長
インターンシップ受入	6月28日(水) ～6月30日(金) 10月16日(月) ～10月18日(水)	6	米子南高等学校と米子北高等学校の生徒を受け入れて土器の接合などを体験。
教員初任者研修受入	8月2日(水)	2	米子西高等学校教員の初任者研修を受け入れた。
尚徳小学校古代学習受入	2月22日(木)	23	火起こし体験などを実施。

事業名	開催・実施期間	入場者・参加者数(人)	内容
連携事業			
米子城を知ろう！ 共催：米子市児童文化センター	5月28日(日) 9月24日(日)	26	米子城跡のガイドを実施した。
財団施設連携事業 米子市文化財団カルチャー・フェスティバル2023 「勾玉づくり」	9月23日(土・祝)	フェス全体(2,045) (138)	当財団が管理・受託している各施設が特色のあるワークショップを実施し、埋文センターは「勾玉づくり」を出展した。 会場：米子市文化ホール
とっとり弥生の王国協力事業 「むきばんだフェスタ」	10月15日(日)	43	米子市と連携し、上淀廃寺から出土した壁画をモチーフにした「古代の壁画を描いてみよう」を出展した。 会場：鳥取県立むきばんだ史跡公園
青谷上寺地史跡公園準備室連携事業 「とっとり弥生の王国 青谷かみじちフェスタ」	11月23日(木・祝)	77	青谷上寺地史跡公園準備室と連携し「ミニ石包丁づくり」を出展した。 会場：鳥取市青谷町体育館
米子市連携事業 「尾高城跡ウォーク」 「尾高城跡現地説明会」	11月26日(日)	180	
調査研究・保存活用			
調査研究・整理保管	通年		寄贈図書・資料、尾高城跡、米子城跡三の丸ほか資料の調査・整理・研究・保管を行った。
収蔵品貸出	通年	7	収蔵品や写真を出雲弥生の森博物館、八雲立つ風土記の丘資料館等へ貸出した。貸出7施設
収蔵品等研究利用	通年	32	大学研究機関、調査研究者等の収蔵品調査・実見に対応した。
図書・報告書貸出	通年	2	研究者・市民への図書等の貸出 3冊2人
施設・設備利用	通年	376	研究会・研修会等での施設・設備利用11件
情報提供事業			
埋蔵文化財センターたより発行	年4回		調査情報や遺跡の紹介やイベント情報の提供などを行った。
刊行物の制作・発行	3月		福市考古資料館・埋蔵文化財センターの年報を発刊した。
ホームページ	通年		ホームページを更新し、施設イベント情報やセンターたよりを提供した。
図書等の販売	通年		『上淀廃寺の美』や米子城パーパークラフト、勾玉の材料等を販売した。
入場者・参加者数合計(人)		1,828	()内の人数は除く

米子市福市考古資料館及び同埋蔵文化財センターの管理業務の実施に係る収支状況 (令和5年度)			
収 入 (円)		支 出 (円)	
項 目	金 額	項 目	金 額
指定管理料収入	18,275,000	人件費	10,776,127
		館長(兼務)	
		学芸員(1人)	
		事務員(1人)	
		受付員(2人)	
事業収入	78,400	施設費	5,187,254
		通信運搬費	195,996
		手数料	17,050
雑収入	93,823	消耗品費	285,518
		修繕費	40,150
		印刷製本費	148,500
財団繰入金	38,569	燃料費	259,272
		光熱水料費	1,866,347
		賃借料	50,664
		保険料	69,010
		租税公課	1,622,200
		支払負担金	2,000
		委託費	575,928
		車両費	54,619
		施設事業費	543,897
		鑑賞事業	168,951
		教育普及事業	135,296
		情報発信事業	199,650
		財団施設連携事業	40,000
		事務局費	1,953,000
		収支差額	25,514
合 計	18,485,792	合 計	18,485,792

米子市福市考古資料館の管理業務の実施に係る収支状況 (令和5年度)			
収 入 (円)		支 出 (円)	
項 目	金 額	項 目	金 額
指定管理料収入	4,001,000	人件費 館長(兼務) 学芸員(兼務) 受付員(2人)	2,177,973
事業収入	43,400	施設費 通信運搬費	1,380,645 41,616
雑収入	50,623	消耗品費	71,927
		印刷製本費	49,500
		燃料費	238,850
		光熱水料費	477,852
		賃借料	14,772
		租税公課	297,600
		支払負担金	2,000
		委託費	186,528
		施設事業費 鑑賞事業	175,891 14,815
		教育普及事業	73,426
		情報発信事業	67,650
		財団施設連携事業	20,000
		事務局費	335,000
		収支差額	25,514
合 計	4,095,023	合 計	4,095,023

米子市埋蔵文化財センターの管理業務の実施に係る収支状況（令和5年度）			
収 入（円）		支 出（円）	
項 目	金 額	項 目	金 額
指定管理料収入	14,274,000	人件費 館長(兼務) 学芸員(1人) 事務員(1人)	8,598,154
事業収入	35,000	施設費 通信運搬費 手数料 消耗品費 修繕費 印刷製本費 燃料費 光熱水料費 賃借料 保険料 租税公課 委託費 車両費	3,806,609 154,380 17,050 213,591 40,150 99,000 20,422 1,388,495 35,892 69,010 1,324,600 389,400 54,619
雑収入	43,200	施設事業費 鑑賞事業 教育普及事業 情報発信事業 財団施設連携事業	368,006 154,136 61,870 132,000 20,000
財団繰入金	38,569	事務局費	1,618,000
合 計	14,390,769	合 計	14,390,769